

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和6年2月26日

公表:令和6年4月1日

事業所名 放課後等デイサービス かめ吉

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	✓			手狭と感じることもありますが、公共施設等を利用して発散できるように日々の予定を組んでいます。
	2	職員の配置数は適切である	✓			適切な配置人数で支援をしていますが、きちんと支援の目や手が行き届くような配置人数を心がけます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		✓		入口に階段があるので気を付けて入ってもらっています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	✓			スタッフ全員でミーティングをする機会を設けています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	✓			集計結果をもとにミーティングをしています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	✓			自社のホームページにて公開をしています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		✓		第三者からの評価は現在のところ行っていませんが、今後検討させていただきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	✓			不定期ですがスタッフへ研修の案内は出しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	✓			支援計画を作成し、その都度署名捺印を頂いています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	✓			標準化されているアセスメントツールは使用していませんが、今後使用の検討をしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	✓			スタッフ全員で行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	✓			ひと月の中で同じ活動が何度も繰り返されないように月の予定決めをしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	✓			きめ細やかに支援をしていけるように努めます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		✓		個別に過ごす時間と集団で過ごす時間を設けて活動をしています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	✓			スタッフで申し送りをしてから業務に取り掛かるようにしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		✓		当日中にスタッフ全員で振り返りをするのは中々難しい日もありますが、翌日の申し送りなどでしっかり共有できるように努めています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	✓			日誌や支援計画への書き込みをして記録を取っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	✓			定期的に見直しが必要か否かの確認をしてから支援計画に落とし込んでいます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている		✓		複数組み合わせ合わせて支援を行うように努めます。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	✓		代表が参画をしています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	✓		行事予定表や送迎のやり取りが上手いかない学校もありますが、概ね良好な関係を気づけていると思います。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		✓	現在は資格者がいない為、医療的ケアが必要なお子様の受け入れはしていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		✓	保育所や幼稚園、子ども園などの連携は無いので、今後連携をしていけるように努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	✓		作業所など障害福祉サービス事業所の方の見学は快諾しています。情報提供も必要とあらばしていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		✓	今後、研修会や助言を頂く場を増やしていくことに努めます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		✓	放課後等デイサービスの事業所同士の交流は頻繁に行っていますが、障害のない子どもとの関わりは少ないので、今後増やしていきたいです。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	✓		代表が参加をしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	✓		連絡ノートや送迎時にその日の様子を伝えるようにしています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	✓		保護者支援が手薄なので今後支援をする機会を作っていくように努めます。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	✓		利用契約時に説明をするようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	✓		的を得た回答が出来ているか分かりませんが、少しでも寄り添えているお話が出来ていればいいなと思っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		✓	保護者会を開くことを検討しています。実際に開催できる様努めます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	✓		苦情があった場合に関しては迅速に対応できるように努めます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	✓		定期的に子どもの様子がわかる新聞を作成し、配布しております。
	35	個人情報に十分注意している	✓		漏洩しないように努めています。情報を外部発信する際は保護者の同意を得るようにしています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	✓		日々伝わりやすい方法を模索しながら業務に従事しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	✓		近所のお店を間借りしてバザーをするなど、地域に開かれた事業所作りをしています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		✓		マニュアルを作成して保護者にも周知できるように努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	✓			緊急時や災害が起こった事態を想定して、防災訓練を月に1度取り組んでいます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	✓			定期的に虐待防止の学習会に参加をしてもらっています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	✓			拘束を行わなければならない旨を支援計画に記載し、保護者同意の上で、実際に現場で拘束を行うか否かを判断しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		✓		アレルギー関係は契約時に確認しています。緊急時は保護者記入の指示書を確認します。特に医師との連携はしていません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	✓			ヒヤリハットを作成しており、いつでも確認できるようにしています。